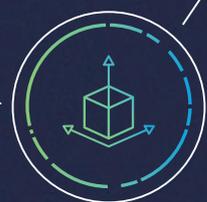
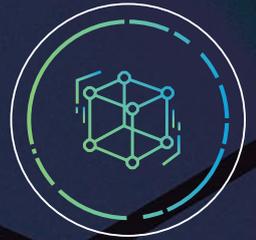


# BricsCAD® V22





シンプルな設計フローを実現する

# BricsCAD®の.dwgワンプラットフォーム

BricsCAD®は、2D-3D-BIM設計を1つのアプリケーション内で対応することができる業界唯一の.dwg互換CADです。CADを変えることなくすべての設計ニーズに対応できるシンプルなフローこそが設計業務の効率向上に貢献できると考えます。

## 入 BricsCAD®が選ばれる3つの理由

### 高い互換性

AutoCAD®との互換性が高く、移行もカンタン

すでにお持ちのAutoCAD®資産(.dwg/.dxfデータ)をそのままBricsCAD®で継承が可能です。互換CADとして、外部参照編集、自動調整寸法、マルチテキスト編集、クイック選択、ワイプアウト、画層状態管理、CUIメニューファイルなどの機能にも対応しています。特徴として、プログラムの安定性が高くカスタマイズ移植を比較的容易に行うことができます。

### ライセンスの柔軟性

低価格の永久ライセンスで、ネットワーク版も買い切り可能

BricsCAD®のライセンス形態は非常に柔軟で、ユーザーの環境に合わせてライセンスを提供します。「永久ライセンス/サブスクリプション」×「スタンドアロン/ボリューム/ネットワーク」を自由に選べるので、最適なコストでCADを導入できます。また、グループ会社間でのライセンス共有や、海外利用にも対応しており、ユーザーの働き方に合わせた利用環境を実現します。

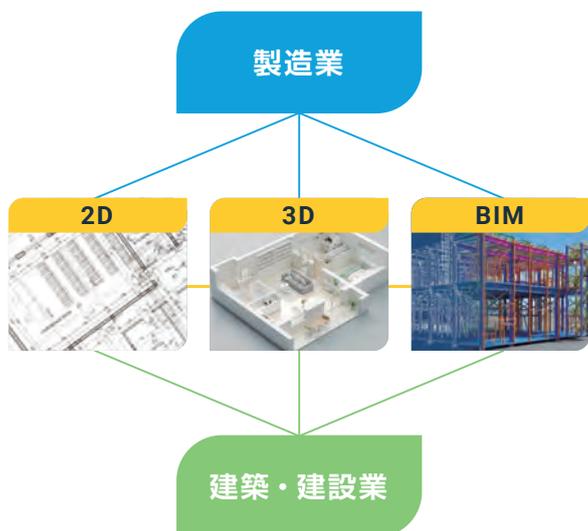
### アプリケーション連携

業界に特化したアプリケーションで業務効率・作図効率アップ

多くのCADベンダーが“安定したプラットフォーム”としてBricsCAD®を選んでいきます。CADのプロであるベンダーが提供するアプリケーションは、ユーザーの業務効率や作図効率を確実に改善します。世界的には200種類以上のアプリケーションがBricsCAD®をプラットフォームとして展開しています。また、.NET、C++、BRX等のカスタマイズ言語で拡張できるので、多くのユーザーのニーズに合わせた最適なCADにすることが可能です。

## 2D-3D-BIM設計に対応した.dwgワンプラットフォームだからできること

2Dと3D、あるいは2DとBIMなど、様々な設計データが混在する今、すべてに対応できるワンプラットフォームが注目されています。設計スタイルに合わせて複数種類のCADソフトの購入や運用管理、CAD操作の習得、あるいは、データ変換の手間や精度に煩わされることなく、**円滑かつシンプルな設計フローで、コスト削減や業務効率向上を実現することができます。**また、2D設計者にとっては、同じ操作性で3DやBIM設計を始めることができるので、「**はじめての3D・BIM**」にお勧めです。



#### ▶▶ ユーザーの声 (マツダ株式会社様)

3Dにも2Dにも建築系にも親和性の高いCADを求めています。リーズナブルな価格で、多くのライセンスを確保できる一方、従来のソフトにも決して劣らない機能性や動作の安定性も備えています。全世界でライセンスを使えるので海外生産展開にも役立っています。

#### ▶▶ ユーザーの声 (株式会社タカミヤ様)

2Dと3Dが混在している今こそ、2Dと3DとBIMを同じソフトで対応できるBricsCAD®のワンプラットフォームは最適な選択だと思います。各社でBIMの取組やソフトも異なるので業界標準の.dwg形式でデータのやり取りができる点もよいです。操作感が従来CADに似ているので、CAD操作の習得が容易だったことも決め手の1つです。

# BricsCAD® V22新機能



BricsCAD®V22では、ユーザーのニーズに応える機能を強化するとともに、利便性を向上しています。  
2D-3D-BIMすべてにおいて一度試したくなるような進化を遂げています。

## BricsCAD® 基本機能の強化

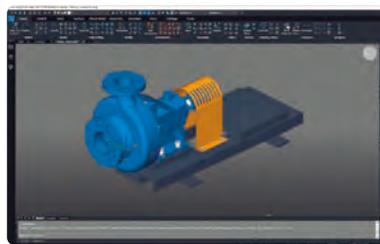
### 1 処理速度の向上

描画速度、図面読み込みの速度が大幅に向上しています。その為、大容量の2D図面や3D図面の表示だけでなく、図面編集のレスポンスにも寄与しています。今後も継続的に強化されます。



### 2 使いやすいUI

UI（ユーザーインターフェース）はユーザーの効率性を向上するために不可欠な要素です。画層管理パネルや各種ダイアログを改善し、今までよりもさらに使いやすいCADに強化しています。



### 3 効率アップするブロック機能

ブロック機能を活用することで、作図効率が向上するだけでなく、図面データの軽量化・図面の標準化が可能となります。ダイナミックブロックのように可変する「パラメトリックブロック」や、1クリックで複数の同形状の図形をブロックに変換する「ブロック化」など、ユーザーの作業効率をアップする機能が強化されています。



## 製造業向け機能

### BricsCAD® Mechanical

#### 1 部品表（BOM）の強化

部品のサムネイルを部品表に表示できるようになり、部品表の可視性が向上しました。また、カスタムプロパティも追加可能となり、ユーザーが任意で設定した属性情報を部品表に表示できるようになりました。

#### 2 板金機能の強化

新コマンドの“SmQuick”は、1クリックでソリッドモデルを板金モデルに変換し、バンドやジャンクションを割り当てます。  
また、設計効率を向上するために新しい板金モデリング機能（ジョグ、ロールエッジ）が追加されました。

#### 3 配管設備設計機能の強化

BIMの建物を基準に線分やポリラインで経路を作成、配管用プロファイルを割り当てることで、3D配管モデルが作成できます。配管継手にボルトやネジを自動的に配置することが可能になりました。

## 建築・建設業向け機能

### BricsCAD® BIM

#### 1 BIMデータの相互性を強化

Revitデータ（.rvt、.rfa）の読み込み精度を向上し、中間ファイル（.ifc）の読み書き精度を強化しています。これにより、よりスムーズに他BIMソフトウェアとデータのやり取りが可能になりました。

#### 2 図面化機能の強化

BIMモデルから生成される2D図面をカスタマイズする機能を強化し（タイトルブロック、BIMタグ、BIM寸法など）、図面をさらに柔軟に生成できるようになりました。

#### 3 土木設計機能

道路設計や鉄道設計で利用されるコリドー機能が強化されています。現況データ読み込み（LandXML、点群データ等）からモデリング、そして土量計算まで対応します。



# BricsCAD®の製品

## 用途に合わせてグレードを選択

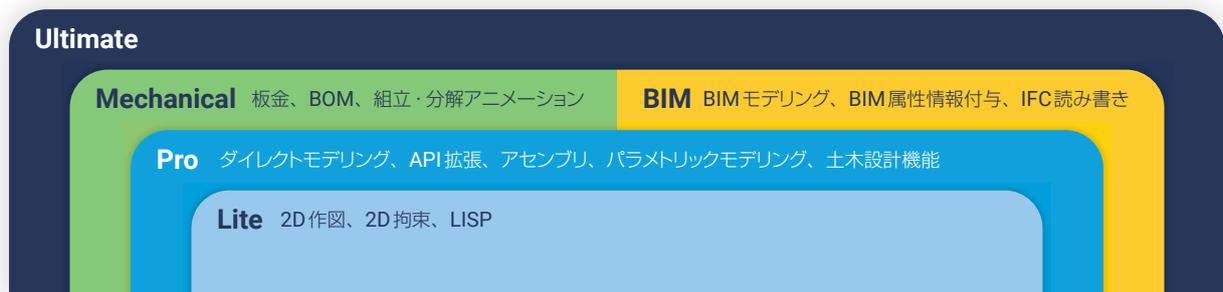
BricsCAD®は、「Lite、Pro、Mechanical、BIM、Ultimate」の5つのグレードから選ぶことが可能です。

下位グレードの機能は、上位グレードでそのまま使うことができます。※下図参照

最もベーシックな Lite は、長年の開発により使いやすさを追求した2D作図機能が搭載された「基本作図グレード」です。

基本的な作図機能はもちろん、革新的な機能も実装しており、今までと変わらぬ操作性で“作図の効率性”を究極に求めるユーザーに適しています。Proは、Liteの機能に3D機能が追加された「3Dの基本グレード」です。特徴として、直感的に誰でも3Dモデルが作成できるダイレクトモデリングを搭載しつつ、設計変更に対応できる本格的なパラメトリックモデリングにも対応しています。

設計者の求めるレベルに合った機能を選択して使えるので、幅広いニーズに応えることが可能です。



## 2Dユーザー向け「Lite」、3Dを始めるなら「Pro」

### Lite

#### 基本作図機能

Lite



BricsCAD®には完成度の高い2D作図機能があります。コマンドはAutoCAD®と互換性があるため、AutoCAD®/AutoCAD® LTユーザーであれば、数時間で操作のコツをつかめます。

#### 高度な作図機能

Lite

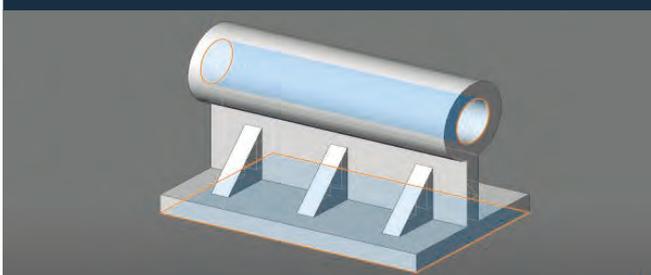


従来の基本的な作図機能に加えて、BricsCAD®は作図効率を向上できる機能を実装しております。1つの例として「ブロック化」があり、図面にある同形状の図形を1クリックでブロックに変換し、パラメーターを付与することで「可変するブロック(パラメトリックブロック)」が作成できます。ブロック図形で図面を管理することで設計変更に対応するだけでなく、図面ファイルの軽量化にも繋がります。

### Pro

#### ダイレクトモデリング

Pro



ダイレクトモデリングは直感的にソリッドモデルを作成、編集するモデリング手法です。既存の2D図面から3Dモデルの作成はもちろん、3Dモデルを粘土細工の感覚で作成できます。3Dモデリングの初心者でも、すぐにモデル作成ができるので、楽しみながらモデリングを学習できます。

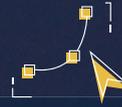
#### パラメトリックモデリング

Pro



ダイレクトモデリング機能にパラメトリックモデリング機能を合わせれば、パラメーター駆動するモデルを作成することができます。「一致、同心円、平行、距離」などの3D拘束を使って効率よく組み上げます。必要なパラメーターを必要に応じて設定するので、設計意図を残したまま柔軟性の高いモデルを作成することが可能です。

# ラインナップ別 ご紹介



## 3D機械設計向け「Mechanical」、3D建築設計向け「BIM」

### Mechanical

#### アセンブリ設計

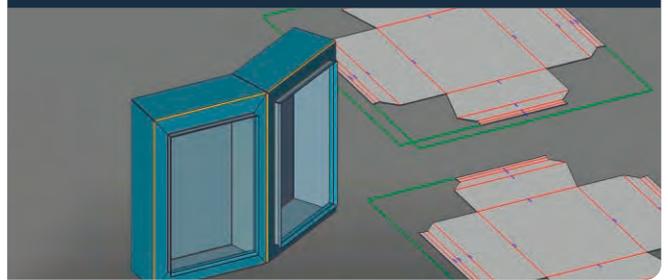
Mechanical



3Dで本格的なメカ設計を行うために必要な機能を実装しています。3Dモデリングで作成したパーツをアセンブリ（組立）して、部品表の出力や分解アニメーションを行うことで、製造の上流から下流工程まで一気通貫した3D運用を行えます。

#### 板金設計

Mechanical



豊富な板金機能を使ってモデリングを行うことができます。3Dソリッドを板金モデルに簡単に変換できるので、設計で作成した3Dモデルを流用して効率的に板金モデル作成からCAMに渡す図面作成（.dwg/.dxf）まで行うことができます。

### BIM

#### モデリング

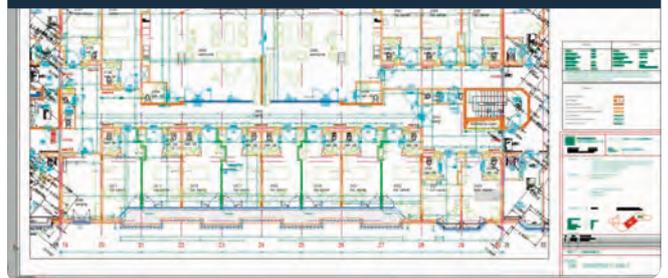
BIM



BricsCAD® BIM では、Pro グレードでも使えるダイレクトモデリングに加えて、建物モデルを効率的に作成するコマンドが使用できます。BIM情報を追加することで、階高の変更が容易に行えるようになり、建具表や面積表などの帳表書き出しも自動化します。

#### 図面化

BIM



BIMモデルから平面図・立面図・断面図・各種帳表を出力します。生成する図面を用途に応じてカスタマイズすることができるので、1つのBIMモデルから複数形式の図面を生成できます。

### Communicator オプション

CommunicatorはBricsCAD®専用の3Dコンバーターです。他のソフトウェアで作成された3D CADデータを読み書きできるので、BricsCAD®以外のCADを使用されている方や、社外や別部署と図面のやり取りを行う方にはお勧めです。

#### 読み込み

拡張子	ソフト名 / 中間ファイル名
stl	STLファイル
igs, iges	IGESファイル
stp, step	STEPファイル
vda	VDA-FSファイル
xcgm	XCGMファイル
model, exp, asat, session	Dassault® CATIA V4
CATPart, CATProduct, CGR	Dassault® CATIA V5
ipt, iam	Autodesk® Inventor
prt	Siemens® NX
x_t, xmt_txt, x_b, xmt_bin	Siemens Parasolid
prt, asm	Creo Elements / Pro Engineer
sldprt, sldasm	SolidWorks
par, asm, psm	SolidEdge
jt	Siemens® PLM Systems

#### 書き出し

拡張子	ソフト名 / 中間ファイル名
igs, iges	IGESファイル
stp, step	STEPファイル
vda	VDA-FSファイル
xcgm	XCGMファイル
pdf	Adobe® 3D PDF
model	Dassault® CATIA V4
CATPart, CATProduct	Dassault® CATIA V5
x_t, xmt_txt, x_b, xmt_bin	Siemens® Parasolid

※ ACIS読み書き：Pro以上で標準対応  
 ※ STL書き出し：Pro以上で標準対応

## 機能比較表 (vs. AutoCAD®)

BricsCAD®はAutoCAD®と非常に高い親和性がある「.dwg互換CAD」です。その機能を下記の表で比較しています。

機能	BricsCAD® V22		AutoCAD®
	Pro	Lite	2022
<b>▼ファイル</b>			
2018ファイルフォーマット	○	○	○
パスワード保護	○	○	○
外部参照のインプレイス編集	○	○	○
PDFアンダーレイ	○	○	○
PDF書き出し	○	○	○
DWF 2Dと3Dへの書き出し	○	○	○
SVGへの書き出し	○	○	×
eトランスミット	○	○	○
シートセット管理	○	○	○
<b>▼インタフェース</b>			
AutoCAD® CUIメニュー・リボンメニュー	○	○	○
メニューカスタマイズツール	○	○	○
コマンドライン入力時の自動補完機能	○	○	○
拡張図面エクスプローラー	○	○	○
拡張クワッドカーソル 2D/3D	○	○	×
ツールパレット	○	○	○
<b>▼選択、スナップ、トラック</b>			
クイック選択ツール	○	○	○
類似選択コマンド	○	○	○
スナップトラック™と極トラック	○	○	○
<b>▼3D</b>			
3Dサーフェス	○	×	○
ダイレクトモデリング	○	×	○
標準部品ライブラリ(30,000点以上)	○	×	×
設計意図	○	×	×
切断面	○	×	○
作図ビュー生成	○	×	○
<b>▼寸法</b>			
ダイナミック寸法	○	○	○
連携寸法	○	○	○
2D寸法拘束	○	○	○
<b>▼テキスト</b>			
多言語文字対応	○	○	○
マルチ引出線コマンド	○	○	○
異尺度スタイル	○	○	○

機能	BricsCAD® V22		AutoCAD®
	Pro	Lite	2022
<b>▼ハッチング</b>			
グラデーションハッチング	○	○	○
カスタムパターンハッチング	○	○	○
<b>▼ラスターイメージ</b>			
ラスターイメージのサポート(クリッピング、透明度)	○	○	○
ECW、JPEG2000のサポート	○	○	○
<b>▼印刷</b>			
CTBとSTBのテーブルファイル	○	○	○
PC3印刷設定ファイル	○	○	○
ページ設定のインポートと編集	○	○	○
<b>▼その他の機能</b>			
3Dconnexionマウスのサポート	○	○	○
ポリライン変換コマンド	○	○	○
画層状態管理、画層フィルター	○	○	○
ダイナミック入力	○	○	○
2D拘束機能	○	○	○
複数図形のプロパティ編集	○	○	○
<b>▼メカニカル</b>			
メカニカルブラウザ	○	×	×
アセンブリモデリング	○	×	×
アセンブリ表示	○	×	×
<b>▼プログラミング</b>			
インプレイス編集を含むActiveX	○	○	○
スクリプト記録	○	○	×
LISP(vl-,vlr-,vla-,vlax-含む)	○	○	○
SDS(Solutions Development System)	○	○	○
COM API	○	○	○
VBA(32bit/64bit)	○	×	○
.NET	○	×	○
CUIメニューファイルのサポート	○	○	○
BRX	○	×	ARX

## 機能比較表 (製品グレード別)

BricsCAD®を製品グレード別(Lite/Pro/BIM/Mechanical/Ultimate)に比較しています。

機能	Lite	Pro
ネイティブ.dwgファイル	○	○
LISP API	○	○
2D拘束	○	○
2D作図	○	○
3Dダイレクトモデリング	-	○
レンダリング	-	○
外部アプリ連携	-	○
3D拘束	-	○
3Dパラメトリック化	-	○
点群読み込み	-	○
STLフォーマット入出力	-	○*

機能	Mechanical	BIM	Ultimate
Pro機能	○	○	○
メカ設計機能	○	-	○
アセンブリモデリング	○	-	○
BOM [部品表]	○	-	○
板金機能	○	-	○
アセンブリ分解	○	-	○
BIM	-	○	○
LOD (Level of Development)	-	○	○
自動分類機能	-	○	○
AIモデリング	-	○	○
配管・構造設計	-	○	○

\*STL読み込みはオプション製品のCommunicatorが必要となります。

## 価格表 定価 (税込)

ライセンスグレード	機能概要	スタンドアロン	スタンドアロン / ボリューム (年間保守契約付) <sup>※2</sup>	ネットワーク (年間保守契約付) <sup>※3</sup>
Lite <sup>※1</sup>	2D作図機能 LISP	75,900 円	98,670 円	148,005 円
Pro <sup>※1</sup>	Liteの機能 3D機能 カスタマイズ言語	104,500 円	135,850 円	203,775 円
BIM <sup>※1</sup>	Proの機能 BIM機能	225,500 円	293,150 円	439,725 円
Mechanical <sup>※1</sup>	Proの機能 機械設計機能 板金機能	214,500 円	278,850 円	418,275 円
Ultimate <sup>※1</sup>	全グレードの機能	248,600 円	323,180 円	484,770 円
オプション製品	機能概要	スタンドアロン	スタンドアロン / ボリューム (年間保守契約付) <sup>※2</sup>	ネットワーク (年間保守契約付) <sup>※3</sup>
Communicator <sup>※6</sup>	3Dコンバーター	77,000 円	100,100 円	150,150 円
サポート保守契約 ※更新費			スタンドアロン / ボリューム	ネットワーク
Maintenance for Lite			22,770 円	34,155 円
Maintenance for Pro			31,350 円	47,025 円
Maintenance for BIM			67,650 円	101,475 円
Maintenance for Mechanical			64,350 円	96,525 円
Maintenance for Ultimate			74,580 円	111,870 円
Maintenance for Communicator			23,100 円	34,650 円
ネットワークライセンス管理サービス				
FlexNetライセンス管理サービス(サーバー1台/1台目) <sup>※4</sup>				187,000 円
FlexNetライセンス管理サービス年間保守契約 <sup>※5</sup>				33,000 円

※1 - BricsCAD<sup>®</sup>すべてのライセンスは、多言語対応です。

- レンタルライセンス(サブスクリプション契約)につきましては、担当営業にご確認ください。

※2 - 年間保守契約はBricsCAD<sup>®</sup>の使用ライセンス本数分の契約が必要です。

・契約期間中のメジャーバージョンアップ権利  
・日本語によるテクニカルサポート(電子メール)の優先対応

※3 - ネットワークライセンス管理サービスが必須となります。ライセンス管理サービスは「Reprise」と「FlexNet管理サービス」をお選びいただけます。詳細はWebサイトでご確認ください。

※4 - FlexNetを使用したライセンス管理サービスです。

- ネットワークライセンスご利用時に必要となります。詳細につきましては、営業窓口までお問い合わせください。

※5 - 初年度のFlexNetライセンス管理サービス年間保守契約は加入必須となります。

・保守契約期間中は、ライセンスファイル発行手数料が無料となります。  
・発行手数料：1回あたり¥33,000(税込)

※6 - BricsCAD<sup>®</sup>専用の3Dコンバーターオプション製品です。

## 動作環境

	最小	推奨
OS	Windows 11 (64bit)	左記OSの通り
	Windows 10 (64bit)	
	Windows 8.1 (64bit)	
CPU <sup>※</sup>	Intel <sup>®</sup> Core <sup>™</sup> i5 AMD Ryzen <sup>™</sup> 5 2.5 GHz 以上	Intel <sup>®</sup> Core <sup>™</sup> i7 Intel <sup>®</sup> Core <sup>™</sup> i9 AMD Ryzen <sup>™</sup> 7 AMD Ryzen <sup>™</sup> 9 3.0 GHz 以上
メモリ	8GB	16GB、32GB
HDD空き容量	2GB (インストール時)	SSD推奨
ディスプレイ解像度	1920 × 1080 以上 TrueColor	3840 × 2160 以上 TrueColor
3D使用時のGPU	NVIDIA、AMD、Intel <sup>®</sup> (VRAM: 1GB以上) 注: Redway3DRのRedsdkが サポートしているGPU	NVIDIA、AMD、Intel <sup>®</sup> (VRAM: 4GB以上) 注: Redway3DRのRedsdkが サポートしているGPU

※シングルレッド性能が良いものを推奨

**BricsCAD<sup>®</sup> 30日間 無料体験!!**

<https://www.bj-soft.jp/>

導入事例



体験版  
ご利用の流れ



製品の  
選び方



お問い合わせ: [sales@bj-soft.jp](mailto:sales@bj-soft.jp)



<https://www.bj-soft.jp/>  
<https://www.alfatech.jp/>

図研アルファテック株式会社は、BricsCAD<sup>®</sup>における日本国内代表代理店です。

## 図研アルファテック株式会社

大阪本社：〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島2-14-6 新大阪第2 ドイビル 5F  
TEL:06-6300-0306 FAX:06-6300-0321  
関東支社：〒224-8580 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-11 センター南ビル 6F  
TEL:045-482-7061 FAX:045-482-7062  
名古屋営業所：〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-23-20 HF桜通ビルディング6F